

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

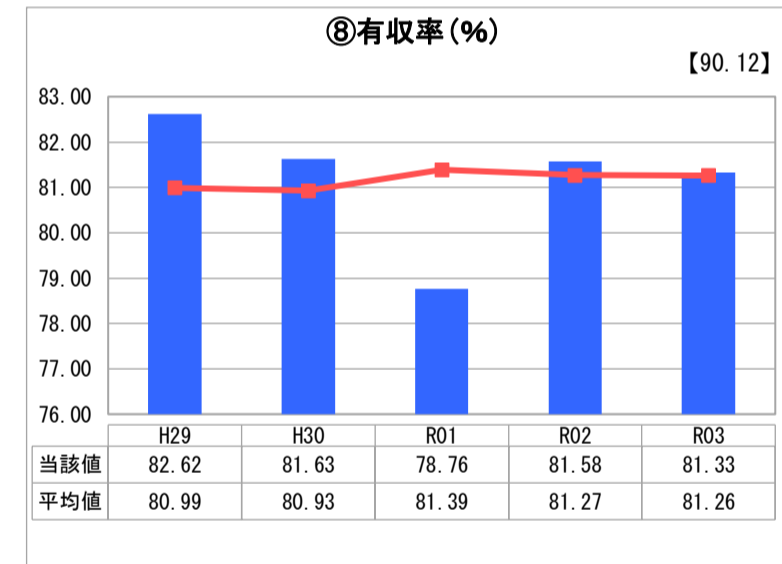
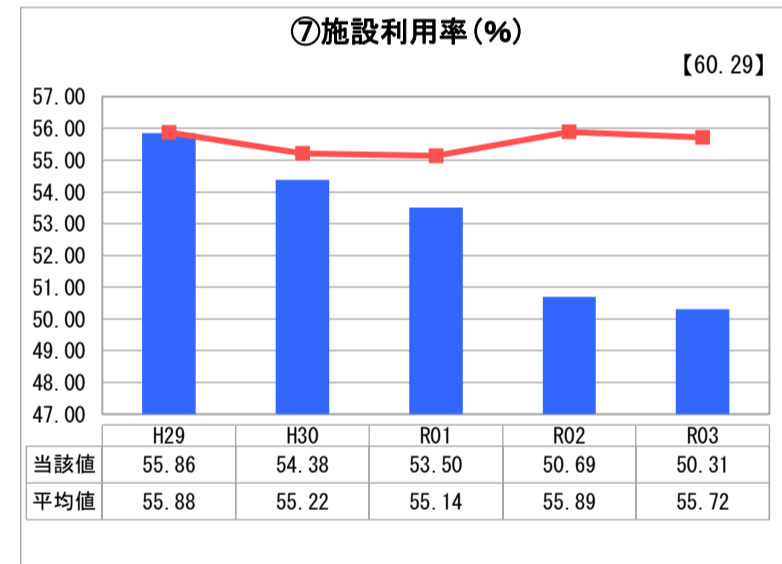
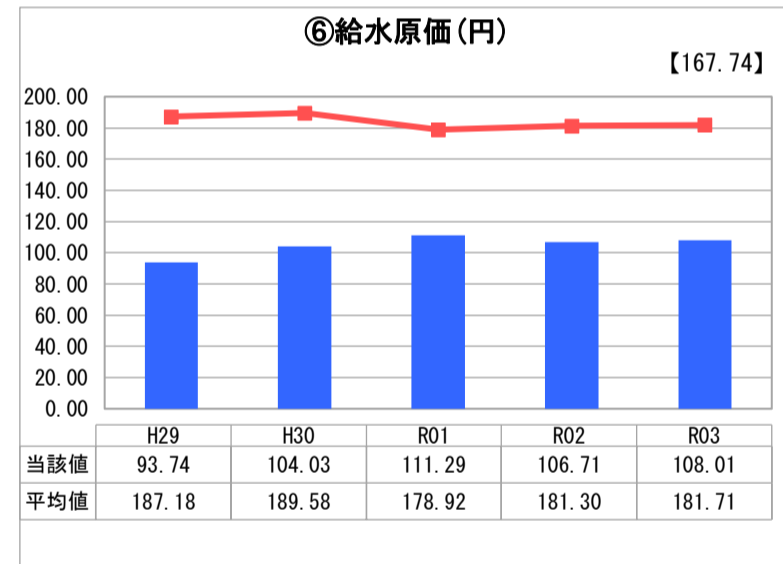
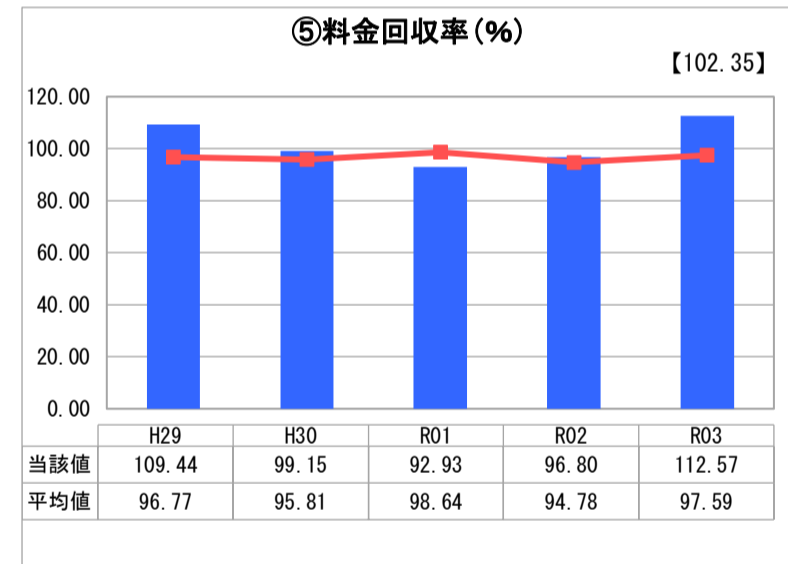
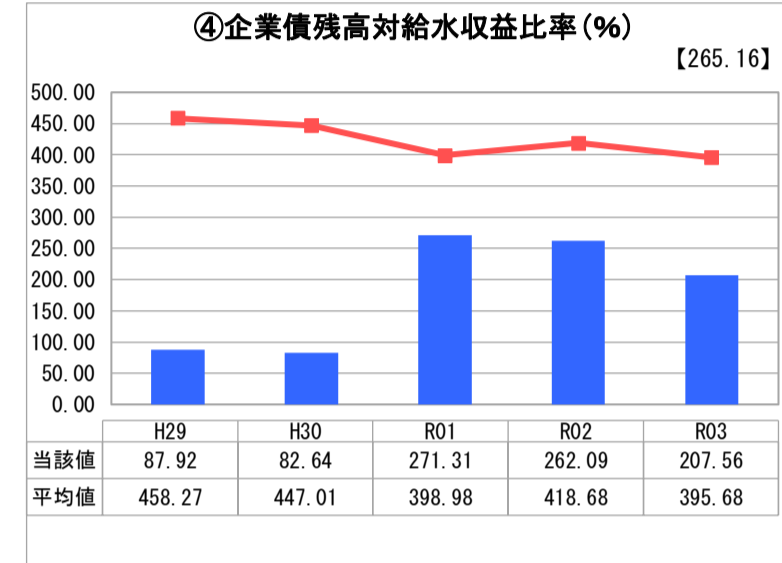
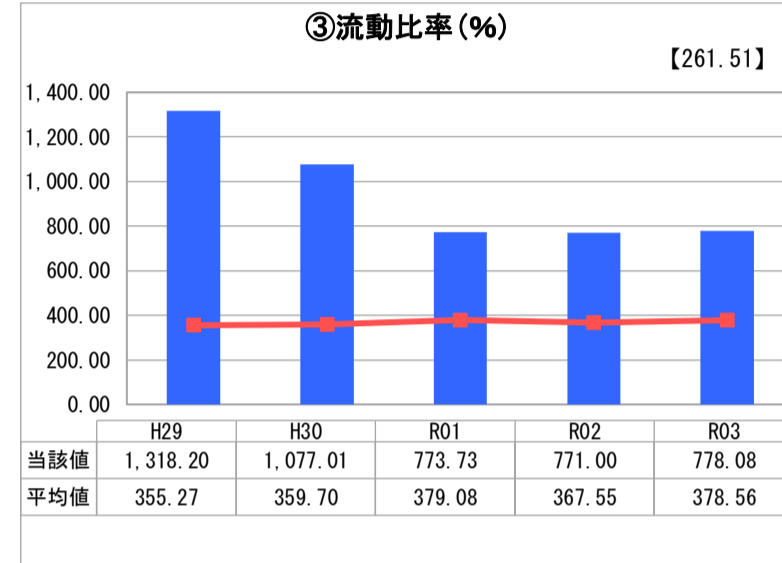
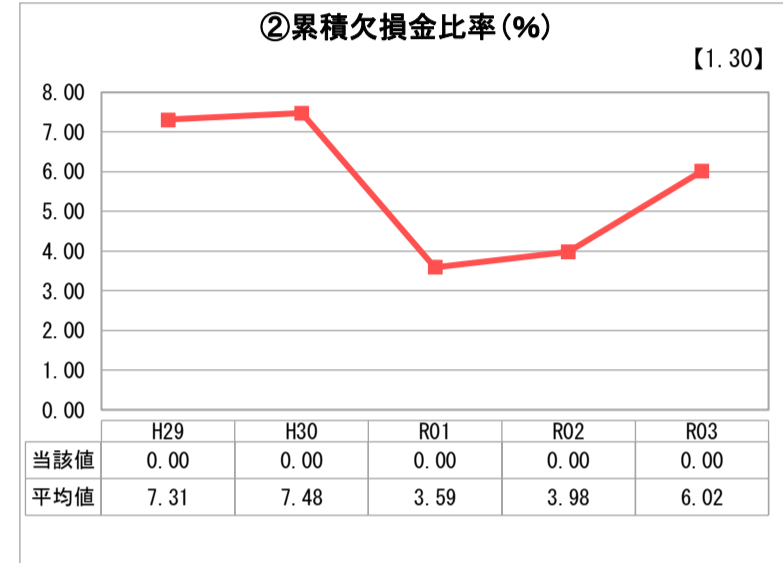
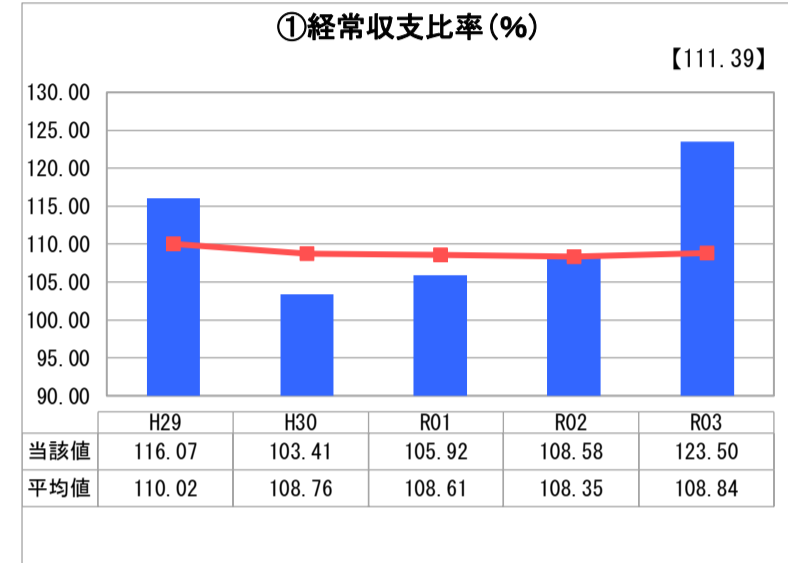
鳥取県 湯梨浜町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	82.13	97.40	2,464	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
16,651	77.94	213.64
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
16,122	44.86	359.38

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

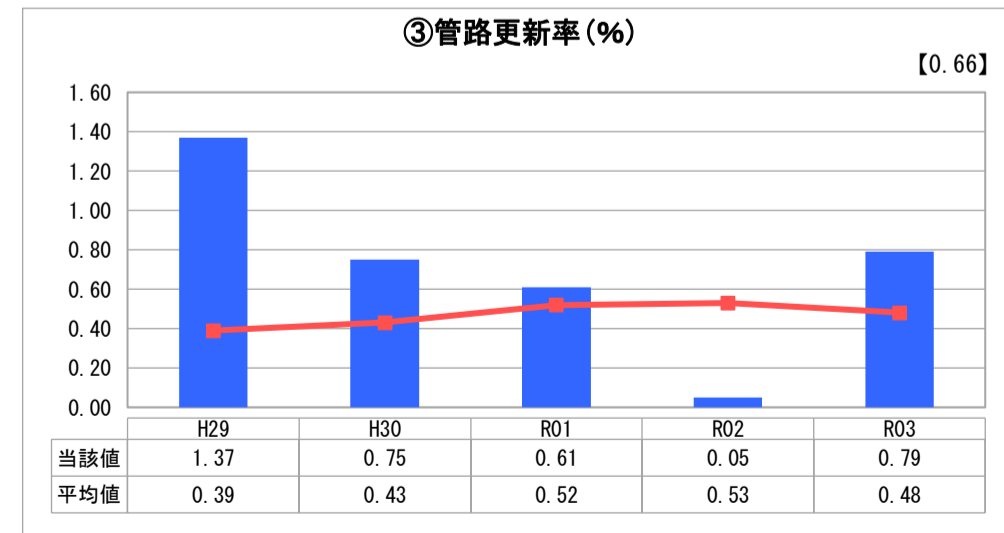
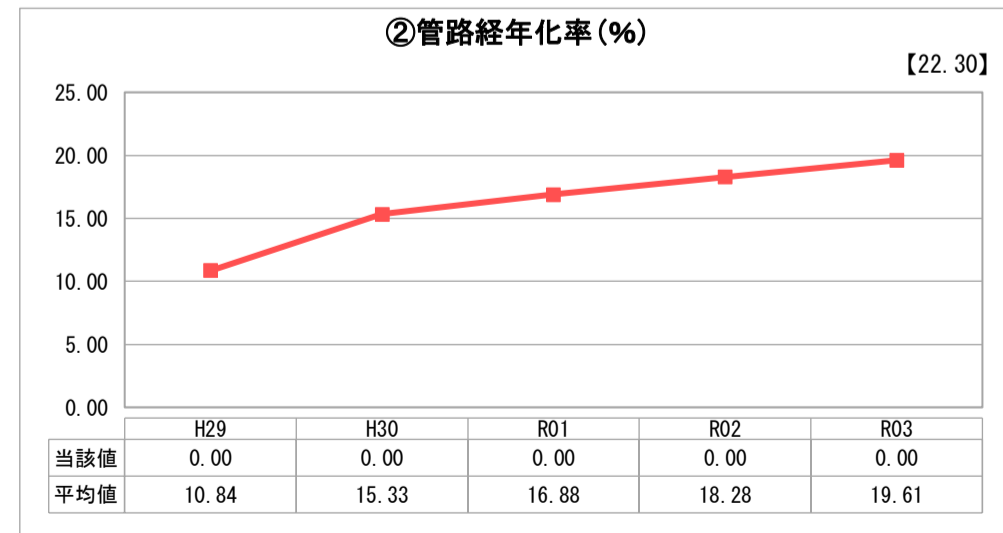
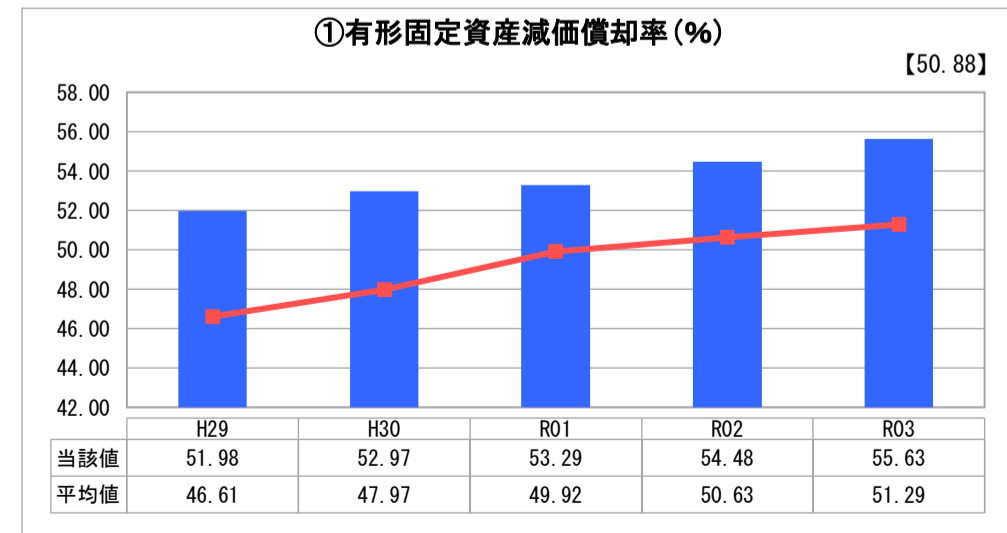
### 1. 経営の健全性・効率性について

効率的な経営により、健全経営を確保しているといえる。  
 経常収支比率は、水道料金を改訂したことで前年度に比べて増加しており、全国平均を上回っている。今後も費用削減や更新投資等に充てる財源確保を図っていく必要がある。  
 流動比率は100%を超えていれば短期的な資金繰りは問題ないとされているが、経営戦略を基に長期的な予測をし、さらに安定的な経営を実施していくことが必要である。  
 企業債残高対給水収益比率は、令和元年度の簡易水道会計統合により増加しているが、平均値は下回っている。  
 施設利用率は、全国平均、類似団体を下回っている。この指標は人口減少や節水技術の向上により需要が減少したこと等が見込まれる。  
 有収率は、全国平均を下回っているものの類似団体を上回っている。漏水調査を重点的に行い、早期発見・修繕に努めている。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は全国平均、類似団体を上回っている。昭和後期から平成にかけて整備した施設が多数あり、令和10年代から30年代にかけて、更新時期を迎えることが見込まれる。  
 管路の更新は資金との調整を図りながら、順次、実施している状況にある。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

料金改定により健全経営を確保しているが、今後、老朽化した管路及び施設の更新を進める必要があり、中長期的な安定経営を図りながら、合理的な運営を目指すことが課題である。